



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail:juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.40(2022.12) 本号の編集担当者 三浦太郎

【支部情報】

予定

1) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2023』

2023年3月4日(土)

報告

1) 『第11回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2022年11月13日(日) オンライン開催(Zoom)

150名の参加をいただきました。前半はシンポジウム「アラ10私を俯瞰する」と題して、卒後10年目前後の総合診療医4名にご自身を俯瞰したプレゼンテーションをいただきました。後半は、四方哲先生に「四方よしの地域医療」、山城清二先生に「富山大学総合診療科の歩み」と題した講演を賜りました。



2) 中部ブロック キャリア Café mini

2022年11月26日開催報告

7名の参加者(女性6名、男性1名)を迎え開催いたしました。ワークライフインテグレーション・キャリアに関する情報共有を行いました。事前に話し合うテーマ項目を出しておくことで、話しやすい環境ができ、個々人の話したいことを話すことができました。こういった集まりでは、子育てと仕事の両立についての話題が多くなりがちですが、子どものいないライフに着目した座談会の企画ができたというメンバーの声もあり、内容がさらに充実しました。今後も様々な企画を通じて、中部支部のメンバーを中心に盛り上げていきたいと思っております。

★静岡支部

1) 『Meet Doctors! ~町のお医者さんと話そう~』

日時：10月1日(土) 15時~17時

開催形式：オンライン(zoom)

主催：浜松医科大学地域家庭医療学講座

医師を将来の職業として考えている中・高校生を対象としてプライマリ・ケア医の働き方を紹介するオンライン

交流会を行いました。浜松佐藤町診療所の水谷民奈先生、聖隷浜松病院本田優希先生はじめ、静岡家庭医養成プログラムの専攻医の先生方にも家庭医としての働き方を紹介してもらいました。また浜松医科大学の学生も参加いただき、中・高校生からの質問に回答してもらいました。中・高校生約20名が参加され、和やかな雰囲気の中、たくさんの貴重なメッセージがちりばめられた交流会となりました。

(本企画は令和4年度浜松医科大学社会貢献支援事業として実施されました。)

2) 『第10回静岡プライマリ・ケアフォーラム』

2022年11月23日に第10回静岡プライマリ・ケアフォーラムを開催しました。会場とオンラインあわせて約60名の酸化がありました。第1部では5名の演者から、それぞれ日々のプライマリ・ケアや総合診療における診療・教育の実践、薬剤師・看護師の活動が発表されました。第2部では講演「プライマリ・ケアにおける遺伝診療」として浜松医科大学の岩泉守哉先生に講義をいただき、一見関連の少なそうに見える「プライマリ・ケア」と「遺伝診療」に結びつきがあり米国ではプライマリ・ケアと遺伝診療医や遺伝カウンセラーとの連携が整備されていることをお聞きしました。丁寧な家族歴をもとにさまざまな遺伝疾患について遺伝診療・カウンセリングにつなげることの意義が認識されました。「これからは家族歴に基づいて、遺伝診療科に適宜相談しようと思う」という感想が聞かれました。第3部では、4名の演者からそれぞれ中小病院における教育、診療所における教育、薬剤師のキャリアと資格、医療的ケア児へのプライマリ・ケアの関わりが語られ、学生・研修医教育の実践方法や地域連携の在り方がディスカッションされました。

診療・教育・多職種連携・キャリアと多岐にわたるテーマが取り上げられたフォーラムで、「刺激になった」という声が多く聴かれました。今後も静岡県支部では年1、2回フォーラムを開催していく予定です。

<概要>

日時: 2022年11月23日(水・祝)13:30-17:00

開催方式: 対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド

場所: アクトシティ浜松 コンgressセンター43会議室

全体テーマ「語り合い、共創する新フェーズの地域医療」

13:30~13:35 開会あいさつ 山之上 弘樹(静岡徳洲会病院)

13:35~14:25 第1部 一般演題

座長 松井 智子(浜松医科大学地域家庭医療学講座)

1. 症例報告「多職種連携を通じて生物心理社会的背景を評価した院内自殺企図の一例」

小塚 ひなの(静岡県立総合病院救急科)他

2. 症例報告「田町診療所と連携して取り組んだCOVID-19 ワクチン副反応事例のまとめ」

林 昭文(たまち薬局)他

3. 活動報告「聖隷浜松病院での多様なステージの学習者に対する屋根瓦式病院総合診療教育」

本田 優希(聖隷浜松病院総合診療内科)

4. 活動報告「第4回診療所看護職のための研修会

~COVID-19感染症に挑む診療所における地域医療の実践と工夫~」

青木 慶子(浜松医科大学健康社会医学講座)他

5. 活動報告「小規模病院におけるコロナ特例病床増床の取り組み」

田中 民子(三島共立病院)他

14:30~15:15 第2部 レクチャー「プライマリ・ケアにおける遺伝診療」

講師 岩泉 守哉(浜松医科大学臨床検査医学病院講師)

座長 松永 拓(公立森町病院内科)

15:25～16:50 第3部 シンポジウム「地域での実践 今までとこれから」

座長 牧 信行(静岡県立総合病院救急科)

1. 「中小病院における地域包括ケア実践、研修医教育について～今までとこれから～」

成島 道樹(清水厚生病院副院長)

2. 「診療所における医学教育・医師研修」

水谷 民奈(浜松佐藤町診療所所長)

3. 「薬剤師キャリアと認定・専門資格～プライマリ・ケア認定薬剤師を取得して～」

西永 尚典(ウエスト薬局)

4. 「最近の重症児者・医ケア児者への取り組みと PC 医に期待されること」

北西 史直(トータルファミリーケア北西医院院長)

5. ディスカッション

16:50～16:55 静岡県支部よりお知らせ 井上真智子(浜松医科大学地域家庭医療学講座)

16:55～17:00 閉会あいさつ 三枝 智宏(佐久間病院)



【予定】

1)しずセミ！～静岡の家庭医と学ぶプライマリ・ケア入門セミナー～

日時:2022年12月3日(土)19:00～

開催方法:オンライン(Zoom)

静岡家庭医養成プログラム(浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム)で定期開催している勉強会、“しずセミ！”の第2回目を12月3日(土)に予定しております。

今回のテーマは『リハビリテーションで患者さんの見方が変わる！』です。専攻医の先生が研修で学んだ内容を元にディスカッションなどを行う予定です。

対象者は医学生、初期研修医、その他プライマリ・ケアに関心のある職種とさせていただきます。参加費は無料なので、是非お申し込みください。



『リハビリテーションで 患者さんの見方が変わる!』

専攻医や指導医と
一緒に家庭医の考え方を
学びませんか?



2022年12月3日(土)
19:00～START!

開催方法：オンライン (Zoom)
対象者：医学生、初期研修医
参加費：無料
申込方法：静岡家庭医養成プログラムホームページ
問合せ先：静岡家庭医養成プログラム
(fammed-program@hama-med.ac.jp)



QRコードからも
お申し込みいただけます!

2)

来る2023年1月27日に、静岡地域で第18回慢性期医療を考える会を開催予定です。

既に4年目となるコロナ禍の中で、職員が感染者や濃厚接触者となり出勤できる職員が減少したり、連携先施設がクラスター発生などで休診あるいは患者受入停止などとなるケースは少なくないと思います。そんな中で患者さんの医療・介護・福祉を継続するための工夫について、病院、在宅、施設などそれぞれの立場からご発表頂きます。皆様、奮ってご参加ください。

第18回慢性期医療を考える会

テーマ(仮) 医療提供の継続と地域との連携について ～コロナ時代をどう生きるか～

日時：2023年1月23日(金) 19:00～21:00

会場：もくせい会館 富士ホール+Web配信(Zoom 予定)

静岡市葵区鷹匠3丁目6-1

シンポジウム登壇者(予定)：伊豆今井浜病院内科 浅田彩乃先生

静岡県立総合病院患者サポートセンター 小池文子先生

訪問看護ステーションはな 岡野寿乃先生

訪問診療クリニックやまがた 吉田英人先生

他

★岐阜支部

【報告】

1) 第5回ジェネふらセミナーin 岐阜

岐阜県地域医療研修検討会の主催で、岐阜大学のぎふ医療ケアサークルの学生の皆さんと共に、学生を対象とした総合診療セミナーを開催しました。

「ジェネラリスト」と「ふらっと」を掛け合わせた冠名には、総合診療に興味がある人はもちろん、ない人も誰でも気軽に立ち寄れるセミナーになってほしいという想いが込められています。

第5回ジェネふらセミナーin岐阜「夏の山 地域を感じ 好きになる～地域医療×俳句～」

日時:2022年7月31日(日) 8:00~13:00

場所:岐阜県揖斐川町春日診療所(かすがモリモリ村リフレッシュ館)

対象:全国の医学生・研修医・専攻医・指導医(学年問わず)

主なプログラム:

- ① 開会あいさつ:菅波祐太(指導医)
- ② 自己紹介&アイスブレイク
- ③ 俳句のミニレクチャー:神野紗希(俳人)
- ④ 吟行(地域探索)&作句
- ⑤ 句会
- ⑥ 振り返り、閉会あいさつ:菅波祐太(指導医)

当日は、厳密な感染対策の下、現地開催で実施しました。

7名の医学生、1名の看護学生、1名の研修医、1名の総合診療専攻医、2名の指導医、プロの俳人1名など、計20名の参加者とともに地域を探索し、俳句というツールを通じて「言葉」に対する感性を磨くとともに、地域を最大限に楽しむことができました。特に人気の高かった俳句を二つご紹介します。

- ・麦わらで世界ひろがる子どもかな(医学生)
- ・せせらぎに負けるものかと蝉が鳴く(医学生)

今後も継続的な開催を予定しておりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします!

(文責:菅波祐太 揖斐川町春日診療所)



第5回
ジェネふら
セミナー
inぎふ

夏の山
地域を感じ
好きになる

日本初となる
地域医療×俳句
現代俳句協会副幹事長神野紗希先生をお招きし、
地域探検をしながら、俳句について学び
総合診療を担う医師にとって
最大の武器である「言葉」と表現する力を
身に付けます！
気軽にふらっと
参加お待ちしております。

2022年
7月31日 (Sun)

時間 8時～13時
場所 揖斐川町春日診療所
(かすがモリモリ村リフレッシュ館)

対象者 全国の医学生、研修医
定員 15名
参加費 無料

※コロナ禍での開催となるため、感染対策を徹底して開催します。当日の参加者の体調によってはご参加頂けない場合がありますので、ご了承ください。
※現地集合・現地開催です。遠方からのご参加も歓迎致します。交通費の補助が可能な場合がありますので、お気軽にご相談ください。



神野紗希先生
愛知県松山市出身
2018年 第34回愛媛出版文化大賞 受賞
2019年 第11回桂枝子賞 受賞
現代俳句協会副幹事長
聖心女子大学・立教大学講師
多数の句集、著書を出展



菅波祐太先生
2011年より揖斐川町で地域医療に従事
地域の日常に小さな感動を見つけるのが好き
揖斐川町春日診療所所長
家庭医療専門医・指導医

[お申し込み・詳細]
右のQRコード→
または下の問い合わせURLより！
締切 7月24日 (Sun)



主催者 岐阜県地域医療研修検討会
お問い合わせ 岐阜大学ぎふ医療ケアサークル
メールアドレス gifucare20112@gmail.com
Facebook <https://www.facebook.com/gifucare/>



2) 『第3回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー (心臓・血管)』

日時：2022年10月22日 (土) 13:00～15:40

場所：総合在宅医療クリニック

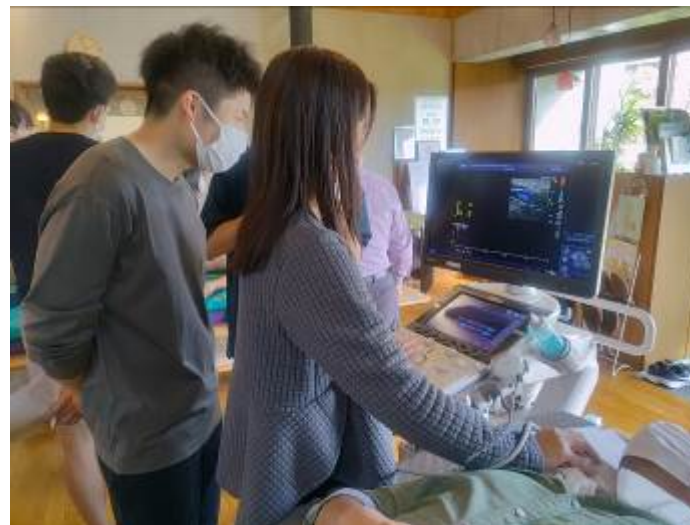
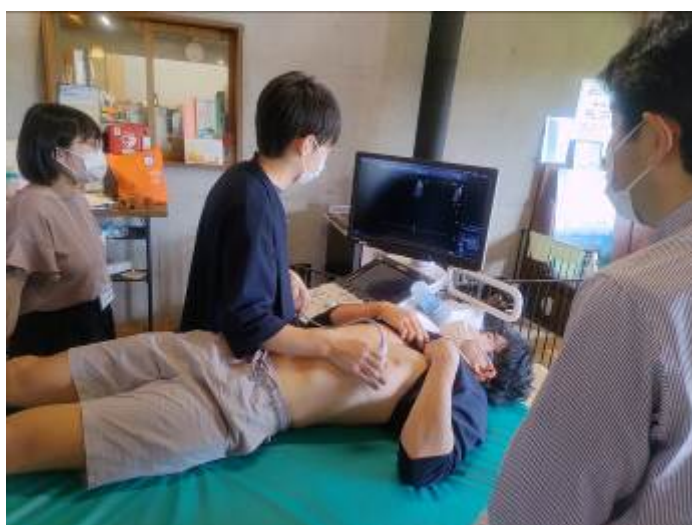
講師：岐阜大学医学部地域医療医学センター 教授 牛越博昭先生、三好内科 服部和樹先生、臨床検査技師9名

受講：23名（家庭医療専攻医1名、総合診療専攻医4名、研修医14名、指導医4名）

モデル：11名（岐阜大学医学部医学科男子学生）

内容：

- ①牛越博昭先生による到達目標の説明
- ②様々な最新のエコー機器10台を使い、10グループに分かれてのハンズオン
- ③関根綾子検査部副技師長（岐阜大学医学部附属病院）による異常エコーの供覧
- ④到達度アンケートの記入



【予定】

1) 『第4回岐阜総合診療セミナー』

日時：2023年1月18日（水）20：00～21：00

場所：Zoom

講演：三重大学医学部亀山地域医療学講座 教授 若林 英樹 先生

テーマ：家族志向のケア

2) 『第49回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時：2023年2月17日（金）18：00～20：30

場所：未定

3) 『第4回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー (腹部)』

日時：2023年3月11日(土) 13:00~15:40

場所：総合在宅医療クリニック

★福井支部

●プライマリ・ケアでの心療 (Psychiatry In Primary Care : PIPC) の講義開催！

2022年10月25日(火)にプライマリ・ケア領域での精神科診療について、信愛クリニック理事長である井出広幸先生よりレクチャーいただきました。井出先生のクリニックは診療の6割が心理面での介入が必要な患者とのことです。『勝ち易きに勝つ!』の言葉とともに、プライマリケア医として患者を診る際のターゲットを、40~70歳の身体症状症 (DSM-5におけるMUS : Medically unexplained symptoms) と提示いただき、背景問診からうつと不安に対するSSRs (SSRI, SNRI, S-RIM) を使いこなす心療の実際の流れを解説いただきました。日々の心療でもやもやする場面への具体的な対処を、くすつと笑える閑話とともに短時間に濃厚にお伝えいただきました。数々の秘訣満載の、明日の診療にもすぐ活用したいエッセンス満載のセミナーでした。



(井出先生と林先生の記念写真)

●2022年度 第2回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

11月26日(土)、27日(日)、2022年度第2回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会がハイブリッドで開催されました。亀田ファミリークリニック館山院長である岡田唯男先生をお招きし、「予防医学入門」および「プライマリケアにおける予防医学の実践」について御講演をいただきました。便益遅延やアウトカムの判定、予防医療と急性期医療の違いを言語化していただくだけでなく、プライマリ・ケア領域への取り込み方やプライマリ・ケアの適切な介入により重症化による入院を予防できる可能性のある疾患 (Ambulatory care-sensitive conditions : ACSC) の概念など予防医学に関する様々な部分を御講演いただき、分かりやすく解説いただきました。その後の専攻医による発表には、現地参加の先生方はもちろん、Zoomのチャット機能を併用したフィードバックや指導が行われ、no blameな雰囲気の中、岡田先生はじめ指導医の先生方の貴重な御意見・フィードバックをいただくことができました。ありがとうございました。



(PF発表会終了後の集合写真)

 **総合診療・総合内科センター General 道場 「ど~しよう会」を開催しました**

GGG（ジージージじゃないよ）センターが主催する総合診療・総合内科医育成プロジェクト、その名も **General 道場！！** プロジェクト2本柱の一つである「ど~しよう会」は専攻医が集う人生相談所！！

同志諸君！！学ぶべきは、『勉強の仕方』だあ〜〜〜🔥🔥🔥



総合診療・総合内科センター 福井大学公開講座「ドクターGの知っ得、健康長寿パート2」を開催しました

市民公開講座あ！！今年度2回目です。餅に風呂に筋肉に最後は **IT×伝統工芸**で参加者の♥をわしづかみ🌟🌟 今回も満員御礼。次回も乞うご期待！！




センターホームページ (<https://ggg.med.u-fukui.ac.jp>) と twitter ([@GGGdoctor](https://twitter.com/GGGdoctor)) フォローもよろしく👉



←HP



←twitter

 **永平寺町在宅医療・介護等多職種連携についての事例検討会**

10月21日永平寺町役場大会議室にて、コロナ流行後の初となる対面での多職種連携の交流会を開きました。地域包括支援センターの御協力のもとで、町内のケアマネ・施設相談員さんに多数参加いただき開催することができました。

在宅看取りが県下で最下位だった永平寺町で、2019年8月に大学運営にて「永平寺町立在宅訪問診療所」を設立してはや3年。住民の方々をはじめ各医療機関・介護・行政の方々のおかげで、訪問診療を利用される患者さんの数も順調に増えており、ついに3桁を超える日も近くなってきました。

日々の業務に忙しく、個々では多職種連携の連絡をとってはいませんが、医療と介護が一堂に会して一緒にチームを組んで考える機会は限られていた分、コロナ流行もありコミュニケーションも取りづらい中で、コロナ対策で溜ま

った想いも、みなさんに解放していただく場となりました。

オリエンテーションでは、現時点での在宅医療のチームとしての立ち位置を確認させていただきました。

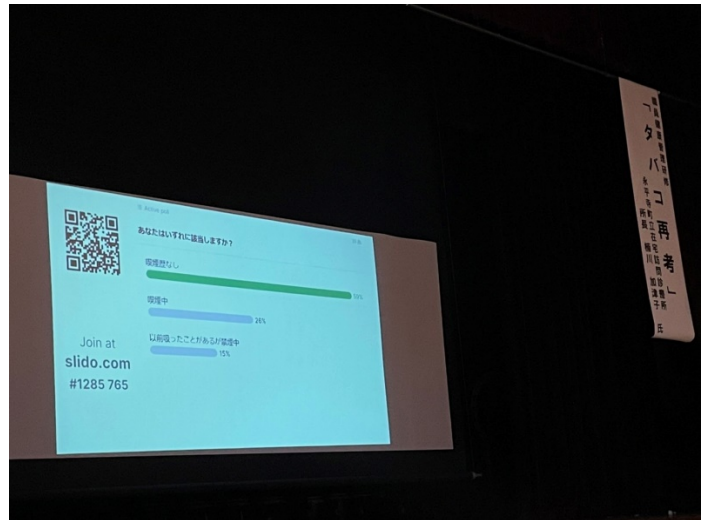
事例検討では「特養のショートステイ中にコロナクラスターに巻き込まれ苦労した困難事例」を提示し、グループワークにて意見交換を行いました。議論は白熱し、各班の発表では「医療型のショートステイが欲しい」「ショートステイは、継続的に普段の様子を見ておらず、変化がわかりづらい、家族のこともわからないなどリスク」「ケアマネタイムなどの使用や動画をつかった情報共有など、医師と相談しやすい環境が必要」「看護師がいない時間が多い」など多数の具体的な、興味深く共感できる意見が上がっていました。

永平寺町の特徴として医療機関併設の介護施設がなく、医療との連携で苦労されている現状など課題が明確になり永平寺町の医療介護チームとしての方向性を共有しました。今後、年2回は多職種連携をテーマに会を開催させていただき今回の意見を踏まえブラッシュアップしていく予定です。(文章 永平寺町立在宅訪問診療所 此下 尚寛)



永平寺町役場職員研修 「タバコ再考」

当院では、永平寺町役場の産業医活動も行っています。10月20日職員を対象に、「タバコ再考」と題して、産業医の立場から、お話をさせていただきました。18時からと仕事帰りでお疲れの中にもかかわらず、91名の職員さんに参加いただきました。事前に参加者の皆さんにはスマホを持参いただくようお願いし、slido というツールを使用して、参加型の45分にしました。まず参加者の背景として、喫煙歴無し：68%、喫煙歴あるが現在禁煙中：12%、現在喫煙中：21%という割合でした。また周囲に喫煙者がいるかという質問では、いるという方が58%と過半数を超えており、喫煙者が減っていてもまだまだ他人事ではない現状が浮かび上がりました。日本においても死亡危険因子で最たるものは喫煙であり、また受動喫煙の影響の大きさ、タバコが脳波に与える影響などもお話させていただきました。禁煙すると、身体的・精神的・経済的にメリットが大きいことを具体的にお話させていただきました。今回の講演会の講演会の目標を、「①禁煙のメリット・喫煙のデメリットを知る」「②禁煙にチャレンジしてみよう、周囲に勧めようと思える」と設定しましたが、クロージングでの目標達成の確認では、ほぼ全員の方が挙手いただくことができました。今回は産業医としてお話させていただきましたが、今後も学校などいろんな場所で地域の住民さんにも禁煙の大切さを発信していけたらと思います。(文責 永平寺町立在宅訪問診療所 楠川加津子)



永平寺町立在宅訪問診療所 民生委員向け講演会「～えい坊診療所の取り組み～」を開催しました

10月2日に民生委員の方々に当診療所をもっと知っていただくことを目的に講演させていただきました。開所から3年余りの診療所ですが、当診療所のことをご存じの方も多く、「きれいな外観」、「待ち時間が短い」、「先生方が時間をかけて丁寧に診察してくれる」など、嬉しいご意見もたくさんいただきました。一方、当診療所の名前から外来診療をしていることを知らなかったという声も目立ち、今後の課題として訪問診療だけでなく外来診療も行っていることをもっとアピールできたらと思いました。当診療所は外来・訪問診療に加えて、小児ワクチン接種や学校検診など幅広く活動しており、そちらも民生委員の皆様にご理解いただけたのも収穫でした。



第6期健康のまちづくりアカデミー開講！

健康のまちづくりを広域多職種連携協働・理論×実践で学ぶセミナー事業「健康のまちづくりアカデミー」、第6期が開講しました。秋に多分野のまちづくりの講義やワークショップを受け、春に健康のまちづくりを実践、成果発表し修了の予定です。学部生から国家公務員まで、幅広い参加者が全国から8名参加されています。

<http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>



★三重支部

【報告】

1) 三重大学総合診療プログラム ポートフォリオ発表会 開催

日時：2022年9月11日（日）9：20-12：00

会場：Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催

専攻医の作成したポートフォリオを指導医が目を通してディスカッションを行い、専攻医も指導医も事例や

総合診療的な技法・概念への理解を深めることができました。

2) 総合診療 虎の穴 卷之十六 開催

患者背景を実臨床に活かす

日時：2022年10月20日（木）19：00-

会場：Zoomによるオンラインセミナー

演者：岩佐紘先生（名張市立病院） 「患者背景から診断する～生物心理社会モデルを考える～」

3) 第2回 MieGP12 フォーラム開催

～総合診療医をどう地域で産み育てるか～

日時：2022年11月26日（土）15：00-18：00

会場：三重大学 三翠ホール（小ホール）

講演①：谷崎隆太郎先生（市立伊勢総合病院）

「そんなに違う？SpecialistとGeneralistの見える景色～両者の経験を踏まえて～」

講演②：山添尚久先生（町立南伊勢病院）

「南伊勢の地域医療・ケア」

特別講演：雨森正記先生（弓削メディカルクリニック／滋賀家庭医療学センター）

「へき地にロマンは埋まっている～10年連続で家庭医療、総合診療専攻医を集めた診療所～」



【予定】

1) 特別講演 開催予定

日時：2022年12月9日（金）17：30-18：30

会場：三重大学医学部臨床第一講義室／ハイブリッド

講師：和足孝之先生（島根大学総合診療センター） 「将来の進路とボク／ワタシの傾向性」

2) 総合診療 虎の穴 巻之十七 開催予定

専門性の狭間を覗いてみよう

日時：2022年12月15日（木）20：00-21：30

会場：Zoomによるオンラインセミナー

演者：谷崎隆太郎先生（市立伊勢総合病院） 「病院で総合診療科外来を開設するところなる」

★富山支部

<PF勉強会>

9月のPF勉強会のレクチャーは渡辺一海先生で「未分化な健康問題」でした。

未分化な症候を診断するための方法論や、不確実性、患者満足度について網羅的にかつわかりやすい口調で説明されていました。

- ・置かれた環境でできる限り診断や方針決定に迫ることが出来ているかどうか(自分が未熟だったから未分化のままだった、とかではない)
 - ・状況を打開するために家族関係や患者中心性などの総合診療医としてのコアになる技術で多面的に評価・介入できているか
 - ・継続的に診察して適切なマネジメントで患者満足につなげられているかどうか
- は重要かと思います。

10月、11月も予定通り勉強会が開催されました。

レクチャーは健康増進、慢性疾患のケアに関して、武島先生、森越先生に行っていただきました。

PF発表は竹村先生の尿路感染症クリニカルパスに関する研究の提示や大成先生の腹部大動脈瘤を保つ患者のリハビリについてのPFを聞かせていただきました。以前紹介されたフレームワークを使っており、成長を感じられる発表でした。

<臨床研究勉強会>

【第3回臨床研究勉強会】

今年度第3回目となる、とむじぇり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を10月21日に行いました。今回は指導医の河合皓太先生、専攻医の並河大器先生に、それぞれ研究のアイデアを持ち寄っていただき、「研究のタネをみんなで膨らませよう！」をテーマに開催されました。

お二人ともテーマが高齢者診療に関わる内容で、認知症診療、せん妄予防、終末期医療、など日常診療で出会う場面から着想された、先生方オリジナルの臨床疑問と研究へのアイデアをご共有いただきました！

リサーチクエストは何か？研究のアウトカムはどうするか？パイロットスタディをするなら対象者は？など、これまでの勉強会で出た知識や議論を踏まえたディスカッションができ、とても盛り上がりました。

今後、先生方には今回のアイデアをさらに研究計画書に落とし込み、引き続き研究勉強会でご発表いただく予定です。

とやま総合診療プログラムでは、今後も、プログラム内外の先生、また、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思えます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

<支部運営についての情報>

● 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

● プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

● 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局）e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp